

Press Release(H 2 9 / 1 / 6)

[農林水産省補助事業] 利活用技術指導者育成研修事業
肉等活用技術研修会（岐阜県）
【～被害対策・地域振興に結びつける捕獲個体の利活用～】を開催
- 産学連携で、野生鳥獣に関する被害対策・地域振興セミナーを企画 -

国立大学法人岐阜大学と株式会社一成は共催で、「肉等活用技術研修会（岐阜県）～被害対策・地域振興に結びつける捕獲個体の利活用～」を下記のとおり開催します。

本研修会は、捕獲された個体（野生鳥獣）の処理及び活用に関する新たな取り組みや、捕獲個体を被害対策や地域振興として活用している全国の優良事例を参考に、被害対策・地域振興に結びつける方法を学ぶ機会として、農林水産省（東海農政局）及び岐阜県の後援を得て実施するものです。

野生鳥獣を単に“害獣”と捉えるのではなく、地域振興に活用する先進事例等から学ぶことを通して、“資源”として有効活用できるような社会を目指すセミナーで、研修会の最後にはパネルディスカッションも予定しています。

ついては、当日の取材についてよろしくお願いします。

記

日 時 平成 2 9 年 1 月 1 6 日（月） 1 3 時 0 0 分～ 1 7 時 3 0 分

会 場 岐阜大学サテライトキャンパス 多目的講義室（大）

（岐阜市吉野町 6 丁目 31 番地 岐阜スカイウイング 37 東棟 4 階）

対象者 ・野生鳥獣（シカ・イノシシ）の被害対策従事者

・野生鳥獣（シカ・イノシシ）の食肉等、利活用従事者 等

内 容

13:00～ 13:10	【開会挨拶】岐阜大学の取り組み
13:10～ 14:00	【講演】被害対策としての獣肉利活用とは （国研）農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター鳥獣害対策技術グループ長 江口 祐輔 氏）
14:10～ 14:40	【講演】効率的な捕獲個体の処理、活用システムの現状と課題 （長崎県農林部農山村対策室・農林技術開発センター 係長 平田 滋樹 氏）

14:40～ 15:00	【説明】農林水産省被害対策事業における食肉等利活用の施策 (農林水産省 農村振興局 農村環境課 鳥獣対策室)
15:10～ 15:40	【話題提供】住民主導のコミュニティービジネスの展開 ～島根県おおち山く じらの取り組み～ (美郷町役場 産業振興課 課長補佐 安田 亮 氏)
15:40～ 16:10	【話題提供】里地里山保全と資源化の必要性 ～猪鹿庁の取り組み～ (郡上里山株式会社 代表取締役 興善健太 氏)
16:10～ 16:25	【講評】食肉等利活用の必要性 ((一社)エゾシカ協会 専務理事 井田 宏之 氏)
16:40～ 17:30	【パネルディスカッション】「被害対策・地域振興に結びつける捕獲個体の利活 用とは」 (コーディネーター：信州大学 学術研究院(農学系) 准教授 竹田 謙一 氏) (パネリスト：講演者)

実施体制

主催：株式会社 一成

共催：国立大学法人 岐阜大学 応用生物科学部

後援：東海農政局，岐阜県

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社 一成 (担当：大山・迫田)

兵庫県加古川市上荘町薬栗 27-2

TEL：079-428-0682 FAX：079-428-2427

E-mail：k_ohyama@issei-eco.com

国立大学法人 岐阜大学 (担当：吉田)

岐阜県岐阜市柳戸 1-1

TEL：058-293-3377 FAX：058-293-2021

E-mail：kohositu@gifu-u.ac.jp